

## 会議結果報告書

会議名	中和地区3市1町自立支援協議会 第1回就労支援部会
会議日	令和8年5月25日(月) 午後2時00分～4時00分
場 所	広陵町総合保健福祉会館 4階 中会議室
出席者	ブリッジ(1名)、青碧(1名)、香芝市社会福祉課(1名)、大和高田市障がい福祉課(1名)、西和養護学校(1名)、相談支援センターどんぐり(1名)、葛城市社会福祉協議会(1名)、生活支援センターしゅ〜く(1名)、コネクト(1名)、アカデミア(1名)、第2すみれ作業所(1名)、えん(1名)、もーる(1名)、広陵町社会福祉課(1名)計14名

### (概要)

#### 1 部会長挨拶

・今まで奇数月の第3木曜だったが、今年度は会場の都合でイレギュラーな日程となっている。配布した資料に日程を記載しているので、今日参加されていない部会員がいれば、案内してほしい。

#### 2 自己紹介

各自簡単に自己紹介。

・アカデミア→B型を廃止して、A型のみとなっている。

#### 3 今年度の取り組み(年間計画)

##### ①

・就労選択支援事業所は圏域内では4か所。ただ対象者がまだ少なく、事業所でどういう内容の支援をされているかもわからないことが多いので、一度見学や事業所の話を聞く機会を設けたい。また、昨年度作成したアセスメントシートの記入について内容ややり方等をどうすればいいのか、を話もしたい。

・選択支援のことを知らない相談支援事業所もまだまだ多い。ワーキングや取り組み以外で周知の機会を設けていきたい。

##### ②

・中和圏域でB型事業所の数は60か所。利用者側からしてもどこを選べばいいかわからないという声が多く、各事業所でしている内容を知ってもらうためにも、体験会の実施を進めていきたい。

##### ③

・当事者報告会におけるアンケートを作成し、部会に参加してもらっている事業所に協力をしてもらって行いたい。福祉的な就労から一般就労に向けて、自身に合った働き方を探す中でステップを一步進めるためにも、こういった支援や協力があればいいのか等アンケートから探り、協議会でできることを模索したい。



①国からはマニュアルが出ているが、地域の実情を踏まえて、サービスの運用自体が本人のためになっているのかを考えながら作成したい。アセスメントシートも地域で作成しているが、運用していく中で今後

②就労選択支援をきっかけにして、色々な分野との繋がり(学生ならこども関係等)をもちたい。就労選択支援は多機関連携を要とするサービスでもあるので、お互いに本人のステップアップのための支店を持つことが大切である。

③体験会について、立地や時間帯での混雑で行きにくいと答える人もいたので、開催時間帯等を見直すこともしていきたい。また、当事者の方にも一緒に考えていく機会も持てたらと思っている。

●開催日等について

- ・通常の部会は全5回、研修を2回予定している。選択支援だけが注目されがちであるが、就労支援全体を考えていく機会にもしていきたい。
- ・7月の研修について、講師はKaizenの動画に出演していたこともある方である。当事者や保護者の方も学べる機会にしたいので、興味がある方には事業所から声をかけてもらって参加してほしい。
- ・9月の研修については、「意思決定支援について」をテーマにする予定。講師は意思決定ネットワークの方。就労選択支援は評価も大事だが、本人の意思決定支援が必要なところであり、アセスメントの内容を中心に本人の選択の幅を広げることが要となるので、今後の運用にあたって重要な部分になる。

●選択支援について（前回のPP資料参照）

- ・圏域内の事業所に対して、需要があっても一事業所で受けられる人数は限られている。今後A型利用も入ってくるにあたって、一般高校や通信制高校等の卒業生も対象者数が増えてくると想定される。そうなると選択支援を受けられなくなる利用者も出てくる可能性があるため、そうなった時のことも考えて選択支援の代案も検討しておきたい。

4 グループワーク

各々記入して、その内容をもとに話し合いをする。（終了後、回収して意見集約）  
2グループにわかれて開催。

●行政・A型・ブリッジ（+先に退出された方の分の意見）で出た意見

①

- ・誰にもとると、重度から軽度までその方の程度によって制度自体を理解してもらえぬのが不安。
- ・本人の働き方や希望を知る機会  
生産活動の中でスキルのついていけなくなったら、会議の中でも
- ・適正の実現、多様な選択肢の提示ができることが、適正な給付に繋がることで期待できる。しかし、事業所自体が少なく、支給期間も短期間になるため、手間になるのではと思う。
- ・B型行きたい、行ったら次に進めないといったところで形骸化への解消を懸念している。
- ・事業の内容は理解しているが、今後サービスを利用している方に対するアプローチをどうしていったらいいか。
- ・事業所と連携して行うにしても、急激にやり方を変えていったら大変だと思うので、定着には時間はかかると思う。また、事業所ではなく働き方を選ぶ、といった方法を考えていく方向に、当事者の意識を変えていく必要があると思う。
- ・工賃と仕事内容だけでなく、事業所でのスキル磨きや働き方というのも発信出来ればと思う。選択支援の内容だけでは難しい評価もあるので、他の事業所での作業評価も協力してもらえれば、そういった選択肢も検討できればと思う。
- ・資源が少ない部分については、選択支援のアセスメントに代わるような代案で対応できないか。本人との共同評価をするにしてもやり方が難しく、方法を考える必要がある。

・多機関連携のあり方について、中立性を担保できるよう、事業所での連携会議に協議会等から参加してもらう等のルールを作成したり、圏域にある事業所への周知や連携をしたり、今後考えていく必要はある。

・キャリアサポートとぷろぼのでも方法やアセスメント期間は違っている。（キャリアサポートは20日くらい。）

## ②

・窓口に来る前に、本人の「働きたいという気持ち」と支援者の「サポート」で乖離があるように感じる。

・事業所の中には利用者を抱え込みがちなので、各事業所が他の事業所を知った上で本人の支援により良い選択肢を与えられれば、もっと良い支援をできるのではと思う。

・働き方も多様化してきた。

・適切なアセスメントが大事だと思っている。短期間の中で本人の強みを見出し、次のステップに繋げるために、丁寧に聞き取ることが大事である。

・希望を正しく聞き取った上で、事業所間で情報を正しく共有することが大事である。

・今後は、企業との連携も必要である。当事者の方に「働き方」のイメージの乖離があるように思える。企業の見学会などにも参加してもらって、イメージをつけてほしい。一般就労なら自己完結する仕事もあり、内容によっては評価もされるため、地域でどんな求人があるかということを知った上で、目線を変えて選択支援を行ってもらえたらと思う。

集約したものは後日部会員に共有できればと思う。

## 5 その他

・檀原の協議会で研修を行う予定。

（9月8日（火）に県社協で八尾と淀川から就労選択支援の事業所が来られる。地域での取り組み等を話してもらえるとのこと。）

次回は7月16日 14時～。

※詳細は別紙参照。

（以下余白）